

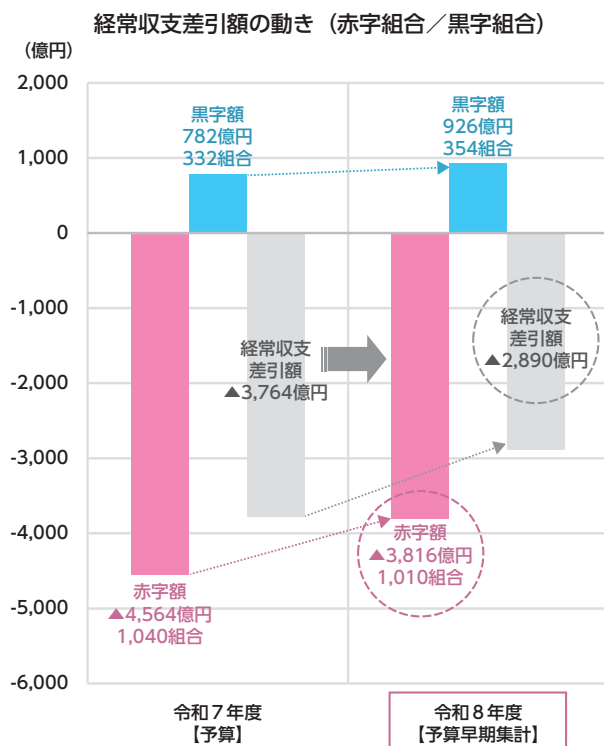
令和8年度健保組合予算早期集計結果の概要

令和8年度は2,890億円の赤字予算

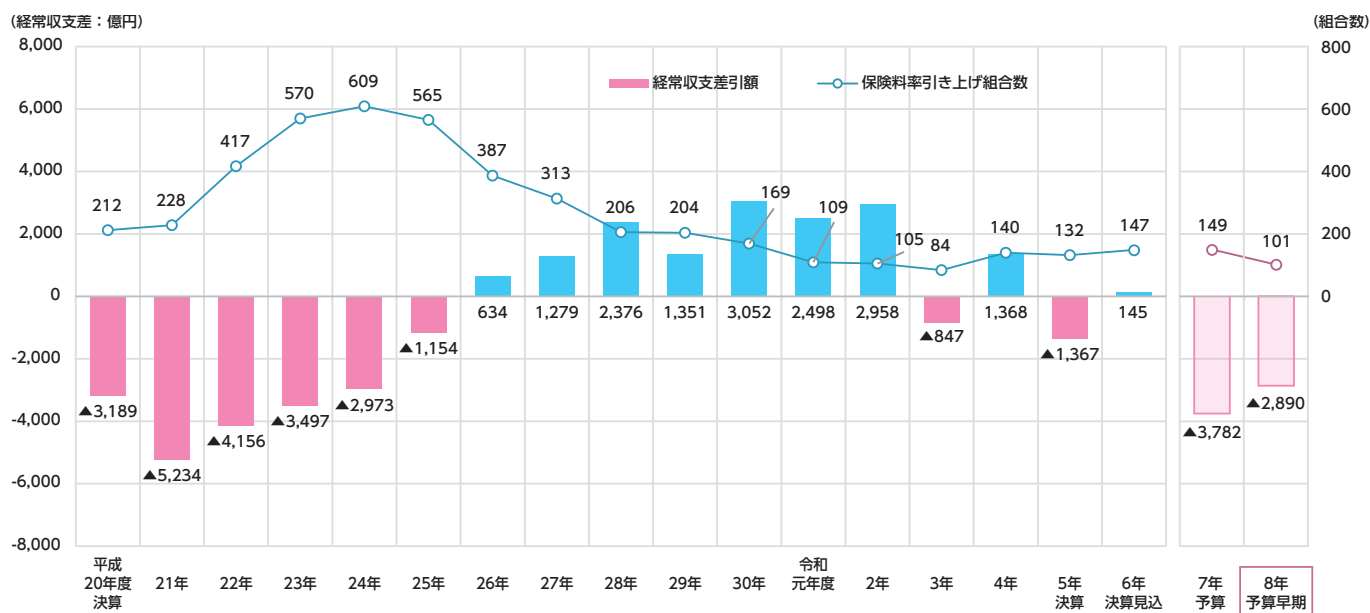
健康保険組合連合会(健保連)が4月28日に「令和8年度健保組合予算早期集計結果の概要」を公表しました。
この予算早期集計は、令和8年度における健保組合の財政状況等を早期に把握するため、報告のあった1,362組合の数値をもとに、同年4月1日時点に存在する1,364組合の財政状況を推計したものです。

POINT

- ◆**経常収支**：経常収入は9兆7,636億円(対前年度予算比+4.0%)、経常支出は10兆526億円(+2.9%)で、経常収支差引額は▲2,890億円の赤字となる見通し。全体の約7割の組合が赤字へ。
- ◆**保険料収入**：被保険者数の堅調な伸びや賃金引き上げ効果を反映して+3.8%(+3,549億円)の増加。
- ◆**保険給付費**：+3.4%(+1,745億円)の増加とやや低い伸び。これは、令和8年度に実施された診療報酬引き上げによる医療費の増加を見込んだ結果と考えられる。
- ◆**高齢者等拠出金**：+2.2%(+873億円)の増加。現役世代の減少が続く中、全年齢に占める高齢者の医療費の割合は上昇を続け、前期高齢者納付金が+1.3%(+210億円)の増加、後期高齢者支援金が+2.8%(+662億円)の増加となった。
- ◆**保健事業費**：データヘルス計画等、加入者の健康維持・増進のための保健事業費は、対前年度比+3.0%(+143億円)増の4,906億円を計上した。



経常収支差引額および保険料率引き上げ組合数の推移



※令和8年度の料率引き上げ組合数は、7年度-8年度両年度にわたり報告のあった1,360組合に基づく数値である。
National Federation of Health Insurance Societies(KEMPOREN)